

(様式8)

公共事業終了箇所評価調書

評価確定日(平成22年9月30日)

Table with 4 columns: 事業コード, 事業名, 事業種別, 路線名等, 箇所名, 総合計画との関連. Includes details like H22-農-終-5, 林道事業, 流域育成林整備事業, もりよし, 北秋田市森吉字根森田 地内.

1. 事業の概要

Main evaluation table with multiple rows. Includes sections for: 事業の背景及び目的, 事業期間, 事業規模, 事業費内訳内容及び要因変化, 目標達成率, 自然環境の変化, 社会経済情勢の変化, 事業終了後の問題点及び管理・利用状況.

( もりよし 地区 )

住民満足度等の状況 (事業終了後)	<p>満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期:平成 22年 9月)</p> <p>満足度把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の方法 (具体的に 市役所職員担当者が関係自治会長等から直接聴取した内容を聞き取り )</p> <p>満足度の状況 林道開設後は、作業現場から工場まで大型車による直送が可能となり、搬出経費が縮減されたこと、作業現場まで車の移動時間が増え、歩行時間が短縮できたこと、林道沿線では、これまで林内に放置した小径木の間伐材を集積し、薪として活用できたことなど、地域住民及び林業従事者等の満足度は高い。</p>
上位計画での位置付け	当該路線は、地域の振興上重要な路線と位置づけられ、山村振興法に基づく「基幹的な林道」の指定を受け県代行事業により実施、更に「米代川地域森林計画」に林道整備路線として当該路線が計画されている。
関連プロジェクト等	特になし
前回評価結果等	<p>選定または継続 改善 見直し 保留又は中止</p> <p>指摘事項 なし</p> <p>指摘事項への対応 なし</p>

### 2. 所管課の自己評価

観点	評価の内容(特記事項)	評価結果
有効性	住民満足度の状況 A B C 林道開設後、適正な森林施業が可能となったほか、伐採木の搬出経費縮減などが図られ、間伐収入が得られたなど、地域住民及び林業従事者等の満足度は高い。	A
	事業の効果 A 達成率100%以上 B 達成率80%以上100%未満 C 達成率80%未満 達成率98.5%	B
		C
効率性	事業の経済性の妥当性 A B C 事業の便益比は1.26であり、妥当である。 総費用1,293,547千円、総便益1,629,731千円	A
	コスト縮減の状況 A 縮減率20%以上 B 縮減率20%未満 C 縮減なし	B
		C
総合評価	A (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い) 予算の制約等により開設期間を要したが、各観点の評価結果から、事業箇所としての有効性及び効率性も高く、概ね妥当性である。	

### 3. 評価結果の同種事業への反映状況等(対応方針)

事業開始前の予備調査や設計段階での現場把握に努め、適正な路線ルートを選定による構造物の削減及び設計VEの実施によるコスト縮減等に配慮するなど、効率的で効果的な事業執行に努める。
--

### 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

### 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B
B (概ね妥当である)	「A」判定、「C」判定以外の場合	
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合	